

秘
農林水産省

都道府県		市区町村			食肉処理施設 コード		

平成29年度食料・農林水産業・農山漁村に関する意向調査
野生鳥獣資源利用実態に係る意向調査票

野生鳥獣の食肉利用に係る施策推進の基礎資料として活用しますので、野生鳥獣資源利用実態調査と併せ、本意向調査への御協力をお願いします。

1 食肉処理施設の現状の課題について、回答をお願いします。

(1-1) 野生鳥獣の搬入時の課題と考えていることについて、該当するものがあれば全ての番号に○を記入してください。(複数回答)

- 1 捕獲数と比較して施設への搬入数が少ない
- 2 捕獲後の血抜き等の処理にばらつきがあり、搬入した野生鳥獣の品質が不安定
- 3 スtockポイント(施設搬入前の一時保管基地)や移動式解体処理車がないため、遠隔地からの搬入が困難
- 4 野生鳥獣の捕獲状況によって、施設への搬入が不安定・不規則となるため、受入対応の体制の構築が困難
- 5 搬入した捕獲鳥獣に対する適正な買取り価格の設定が困難
- 6 その他

(1-2) 上記で○を記入された課題について、(複数回答された場合は番号とともに)その詳細を具体的に記入してください。また、当該課題の解決のために、検討されている方法等があれば記入してください。

(2-1) 野生鳥獣肉の供給・販売時の課題と考えていることについて、該当するものがあれば全ての番号に○を記入してください。(複数回答)

- 1 品質の維持や安定した供給・販売のための冷凍保管施設が不足しているため、注文の増加や急な注文への対応が困難
- 2 売れない部位の販売や商品開発が困難
- 3 狩猟期以外の消費が少ない(夏ジビエなどの普及が不十分)
- 4 フレンチだけでなく、和食等への活用や家庭への普及が不足
- 5 販売する商品のPR方法が分からない
- 6 販売先が分からない
- 7 その他

(2-2) 上記で○を記入された課題について、(複数回答された場合は番号とともに)その詳細を具体的に記入してください。また、当該課題の解決のために、検討されている方法等があれば記入してください。

(3-1) 食肉処理施設の人材の課題と考えていることについて、該当するものがあれば全ての番号に○を記入してください。(複数回答)

- 1 解体処理の専門的な知識・経験を有する人材が不足
- 2 解体処理担当者の高齢化・兼業化が進んでおり、今後の後継者が不足
- 3 衛生管理の専門的な知識・経験を有する人材が不足
- 4 食用に適する肉の選定ができる熟練した人材が不足
- 5 商品開発ができる人材が不足
- 6 営業の専門的な知識・経験を有し、これを実践できる人材が不足
- 7 施設運営全体をマネジメントができる人材が不足
- 8 その他

(3-2) 上記で○を記入された課題について、(複数回答された場合は番号とともに)その詳細を具体的に記入してください。また、当該課題の解決のために、検討されている方法等があれば記入してください。

(4) 施設の設備の課題(野生鳥獣肉の衛生管理に関する指針(ガイドライン)へ対応するための既設の設備の拡充が必要等)、その他の課題があれば、その詳細を具体的に記入してください。また、当該課題の解決のために、検討されている方法等があれば記入してください。

2 野生鳥獣資源利用実態調査票の2(3)、3(6)で「その他」へ記入された場合は、次の設問に回答をお願いします。

(1) 野生鳥獣資源利用実態調査票の「2 食肉処理施設の処理実績」-「(3)食肉処理施設が解体した鳥獣」の「その他鳥獣」-「その他」へ記入された場合、具体的な獣種名を記入してください。

(2) 野生鳥獣資源利用実態調査票の「3 食肉処理施設の販売実績等」-「(6)食肉以外の販売」の「その他」へ記入された場合、具体的な製品を記入してください。

調査は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒にて、調査票を返信してください。